

令和3年度 ニシン漁獲物調査速報(3):小樽地区

1~3月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

2月1日に小樽市漁協に水揚げされたニシンの漁獲物調査を実施しましたので、結果をお知らせします。小樽市漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲状況

2月1日の小樽地区では、サイズ規格「1番」、「2番」、「3番」の水揚げがあり、最も大型の「1番」の漁獲が大半でした。

2. 銘柄「1番」:メスの卵巣完熟率は100%

標本30尾中、10尾がオス、20尾がメスでした。最も多かったのは尾叉長は32cm台(図1)、体重380~429gでした。メスの卵巣は20尾(100%)で完熟状態(卵巣の色は透明感ある黄色で、腹部を圧迫すると総排出口からゆっくり塊状の卵が出てくる状態)でした。平均卵巣重量(最小~最大)は、100.3g(67.1~123.4g)でした。オスの精巣は放精前の状態でした。

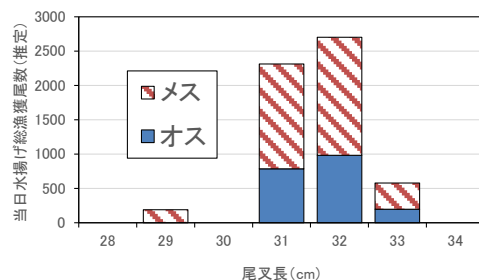


図1 銘柄「1番」の尾叉長組成

3. 銘柄「2番」:メスの卵巣完熟率は79%

標本34尾中、20尾がオス、14尾がメスでした。最も多かったのは尾叉長31cm台(図2)、体重330~379gでした。メスの卵巣は11尾(79%)で完熟状態でした。平均卵巣重量(最小~最大)は、86.7g(62.8~111.2g)でした。オスの精巣は放精前の状態でした。

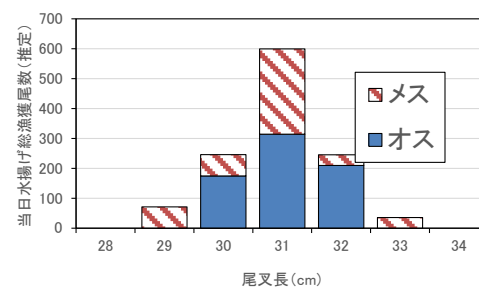


図2 銘柄「2番」の尾叉長組成

4. 銘柄「3番」:メスの卵巣完熟率は83%

標本43尾中、20尾がオス、23尾がメスでした。最も多かったのは尾叉長28cm台(図3)、体重230~279gでした。メスの卵巣は19個体(83%)で完熟状態でした。平均卵巣重量(最小~最大)は、60.5g(37.6~74.6g)でした。オスの精巣は放精前の状態でした。

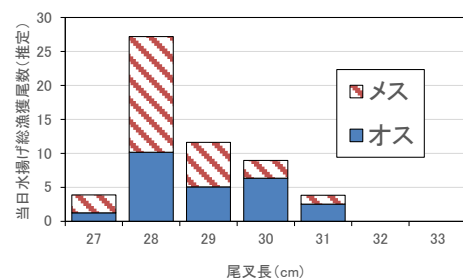


図3 銘柄「3番」の尾叉長組成

5. 年齢査定結果について（2月28日追記）

サイズが一番大きい銘柄「1番」は、4歳（5年魚、2017年級）が47%と最も多く、ついで5歳（6年魚、2016年級）で、6歳以上の個体も20%含まれていました。銘柄「2番」は、3歳（4年魚、2018年級）が35%を占め、ついで4歳が32%と高い割合を占めていました。一番小型である「3番」は3歳が37%を占め、ついで2歳（3年魚、2019年級）が35%を占めていました。当日の水揚げは、「1番」が大半を占めていたことから漁獲物全体で見ると4歳以上が多くを占めていることになります。

